

# 平成29年度 農林水産関係新規試験研究課題一覧表

【農業部門】

大分県農林水産研究指導センター

研究部・グループ名	課題名	研究内容
農業研究部	大分県産夏秋野菜の栄養・機能性評価	夏秋野菜のトマトとピーマンの単価向上や販売量増加を図るため、栄養・機能性成分の数値化および成分値の変動の実態解明を行う。
	稲こうじ病、いもち病に対する新たな防除体系の構築	近年多発傾向にある稲こうじ病の被害を軽減するため、負担の少ない防除方法を研究する。また、いもち病被害を防止するため、いもち病菌のレース検定を行い発生実態を把握する。
	「赤採りトマト」の周年供給体制の確立	「赤採りトマト」の品質のバラツキを押さえて周年安定出荷を行うため、品質変動要因の解明と良食味栽培技術の開発を行い夏秋産地にも導入可能な周年多収穫技術の確立を図る。
	日本一のホオズキ産地を支える優良系統育種技術の開発	ホオズキの生産性向上を図るため、産地で増加している奇形株の発生メカニズムを解明して発生割合を減らすとともに、優良系統作出のための培養技術の開発を行う。
農業研究部 水田農業 グループ	経営規模拡大と低コスト化をめざした水稲乾田直播栽培の体系化実証	米価低迷への対応や労力軽減を図るため水稲乾田直播栽培の現地実証を行うとともに、多収米品種の栽培技術を確立して低コスト化を実証する。
農業研究部 果樹グループ	県南地域を支える地域特産中晩柑の高品質・安定生産技術の確立	県南地域で取り組んでいる「大分果研4号」（商標名：「ゼリーオレンジ・サンセレブ」）、完熟「不知火」（商品名：「デコ330」）、「セミノール」（商品名：「サンクイーン」）のさらなる品質向上や樹勢回復を目指して栽培技術等の確立を図る。
	いつも美味しい！「おおいたシャインマスカット」生産技術の確立	美味しい「シャインマスカット」を安定的に供給するため、糖度センサーの実用性検討、品質安定化技術の開発、出荷期間延長技術の確立について試験を行う。
	若者に魅力ある所得2倍の高収益、早期成園化技術「ナシ流線型仕立」の確立	植付け3年で成園化するナシ栽培技術における苗作りや仕立て等の技術的問題を改善して、県下のナシ産地への普及を図るための技術を確立する。
農業研究部 花きグループ	他産地の追随を許さない！ホオズキ栽培技術の確立	栽培面積の減少と高度な栽培技術の低下を防止するため、出荷期間に集中する多大な労力を分散する技術や省力的栽培技術の確立とマニュアル化に取り組む。
	遺伝資源を活用したオリジナル花きの育種と栽培技術の確立	鉢物として揃いが良く強健で生産性の高いわい性トルコギキョウの品種を作出して産地の確立につなげる。また、切り花では県内産地に向くオリジナル品種の育成と産地ごとの作型に適した品種の選定を行う。

# 平成29年度 農林水産関係新規試験研究課題一覧表

大分県農林水産研究指導センター

## 【畜産部門】

研究部・グループ名	課題名	研究内容
畜産研究部	黒毛和種における短期肥育技術の確立	一般的な270日齢290kgの市場導入牛をイネWCS麦焼酎粕混合飼料併用の高タンパク飼料により、肥育期間を3か月短縮して26か月齢出荷するための肥育技術を明確にする。
	食肉脂質測定装置を用いた豚肉脂質測定システムの開発と豚肉脂肪中のオレイン酸含有率向上技術の確立	差別化とブランド化による安定的な養豚経営を確立するため、食肉脂質測定装置を用いた簡易測定システムの開発と、飼料用米等の給与によるオレイン酸含有量を高める飼養技術の確立を目指す。

## 【林業部門】

研究部・グループ名	課題名	研究内容
林業研究部	内装・家具に最適な県産材乾燥技術の開発 — 「栈木痕」の無い板材の生産 —	内装や家具として使用される板材の乾燥過程で発生する「栈木痕」は美観を損ねてクレーム対象となることから、品質向上に向けた乾燥技術を確立する。
	一般流通製材を用いた大断面柱材の開発	建築基準法の改正にともなう中規模建築物への木材の需要拡大をめざし、県内の木材関係者が製造可能な一般流通製材を組み合わせた「合わせ柱」を開発する。
	次世代の森林づくりに向けたヒノキ優良品種の選抜	伐採後の次世代の森林づくりにあたり、ヒノキにおいても施業の低コスト化や強度性能・材色で木材利用に適し花粉の少ない品種の選抜を行い、県内環境での成長を把握する。
林業研究部 きのこ グループ	原木シイタケの単収向上を目指した2年目発生操作技術の確立	原木シイタケの2年目の発生量が減少していることから、ほだ木1代当たりの収量を増加させるために、夏期の高温の影響を明らかにして発生操作技術の確立を図る。

## 【水産部門】

研究部・グループ名	課題名	研究内容
水産研究部	魚病リスク回避型養殖技術開発研究	養殖魚の疾病発生要因である病原体の分布と魚の生理状態を悪化させる飼育条件との関係を明らかにし、ワクチン等の対策のない魚病の予防・治療方法の提示をめざす。
水産研究部 浅海・内水面 グループ	ヒジキ資源増殖技術の開発	ヒジキ資源を増加させるため、天然のヒジキから放出される卵を建材ブロックに着生させ、ブロックのまま移植する水深帯や植生と流動等の関係を調査して、生息に好適な条件を明らかにする。
	ナマコの放流技術の向上と環境浄化機能の現場検証	減少している県産ナマコを使った種苗量産と放流の技術向上を検討する。 また、養殖筏の下の富栄養化が進んだ場所でのナマコの環境浄化機能を検証する。